

# 世界に飛躍する 開かれた総合大学へ

2025年におかげさまで  
創立から100周年を迎えます

## 卒業生のみなさまへ

2020年は本学OBの徳勝龍関の優勝に沸いた初場所に始まり、いよいよオリンピックモードになりました。1964年の東京オリンピックが日本の20世紀の躍進の起点となったように、今年は21世紀の社会変革が本格的に始動する年になるように思います。さて近畿大学は、その実績を持って日本を代表する私立大学へと変貌を遂げつつあります。イギリスの教育専門誌が発表する「世界大学ランキング」において、本学は601~800位に位置し、西日本の私立総合大学ではトップのポジションを誇っています。また各種ランキングにおいても「知名度」1位や「改革力の高い大学」1位を誇っています。この高い評価は、大学と校友の皆様が、立ち止まることなく新しい挑戦をし続け、近畿大学の名を全国に広め、高めてきた証だと確信します。そして、これからも近畿大学は、多様化の進む大学改革の時代にも社会に大きなインパクトを残したいと思えます。皆様には、キャンパスを覗いて近畿大学の発展と学生たちの活躍を応援して頂き、校友として大学と一緒に未来に向けて歩んでいただくよう御願いたします。



近畿大学学長  
細井 美彦

令和2年(2020年)1月31日

## KINDAI TOPICS

近大トピックス

### 大相撲幕内初優勝 朝乃山英樹関・徳勝龍誠関 本学から近大マグロを贈呈

2019年5月25日大相撲夏場所で平幕ながら幕内初優勝を果たした、本学の卒業生である朝乃山英樹関(2016年経営学部卒業)が2019年6月18日に母校近畿大学に凱旋し、近大前商店街にてパレードを行いました。さらに2020年2月3日、大相撲初場所で幕内初優勝を果たした、徳勝龍誠関(2009年経営学部卒業)も凱旋し、優勝報告会を実施しました。今後の活躍を期待し、激励の気持ちを込めて本学から両名に近大マグロを贈呈いたしました。大相撲では、現在、伊勢ヶ濱部屋の宝富士関、木瀬部屋の徳勝龍関、志摩ノ海関、高砂部屋の朝乃山関の4人が、近畿大学体育会相撲部出身の関取として幕内で活躍しています。



### ウナギの人工ふ化、初期飼育に成功 完全養殖をめざす

近畿大学水産研究所(本部:和歌山県白浜町)は、このたびニホンウナギの人工ふ化に成功し、稚魚の飼育期間が50日となりました。ウナギ養殖の元種となるシラスウナギと呼ばれる天然の稚魚は、近年漁獲量減少が大きな問題となっています。近畿大学水産研究所では、人工種苗生産をめざして研究。現在、50日齢仔魚、43日齢、28日齢が順調に成長しています。今後は、シラスウナギまで育てることを第一目標として、その後完全養殖をめざして研究を続けます。



 **近畿大学**  
KINDAI UNIVERSITY



<https://100th.kindai.ac.jp/>

学校法人近畿大学(東大阪キャンパス)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

<https://www.kindai.ac.jp/>

総務部 校友課

TEL(06)4307-3008

FAX(06)6724-7430

[kohyu@itp.kindai.ac.jp](mailto:kohyu@itp.kindai.ac.jp)

創立100周年記念事務局

TEL(06)4307-3112

FAX(06)6723-7690

[100thanniv@itp.kindai.ac.jp](mailto:100thanniv@itp.kindai.ac.jp)

学校法人近畿大学 創立100周年記念報

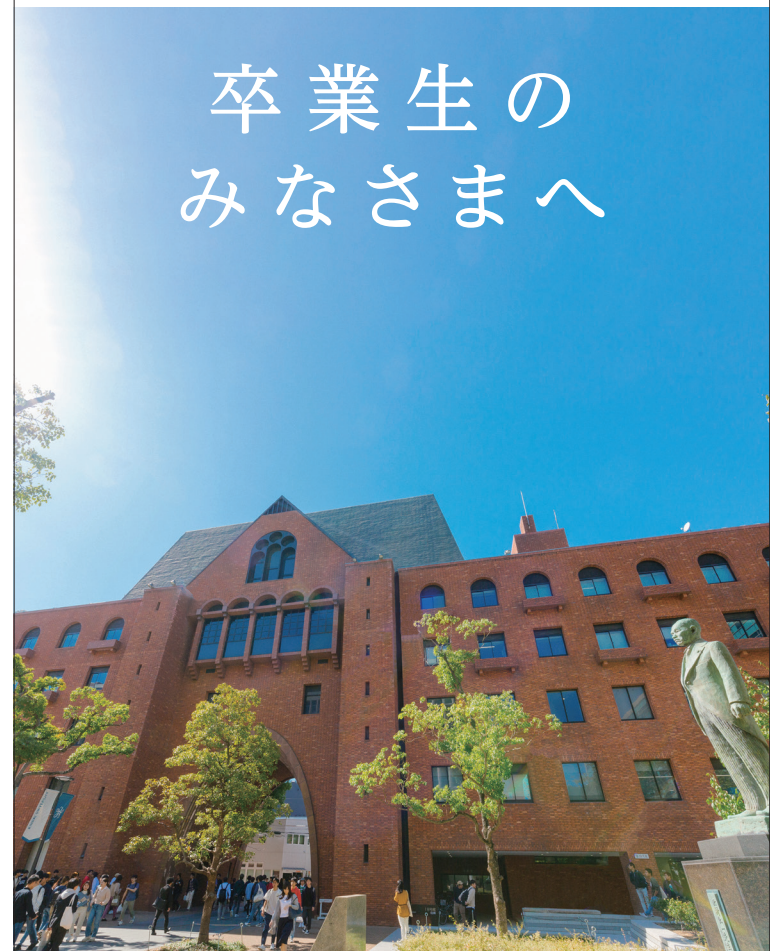
# KINDAI 100th ANNIVERSARY NEWS

ISSUE

01

2020年3月発行

## 卒業生の みなさまへ



 **近畿大学**  
KINDAI UNIVERSITY

### 東大阪キャンパス

#### 次世代型新食堂2019年9月OPEN! 日本の大学初 プロテイン入りメニューも販売

近畿大学は来る100周年に向け、2014年から史上最大の投資を行い、「超近大プロジェクト」として東大阪キャンパス整備を進めてきました。2017年にはメイン施設アカデミックシアターが、オープン。来場者数は1年で150万人となり、多くのメディアに取り上げられています。また、東大阪キャンパス7号館の竣工に伴い、アンダーアーマーの日本総代理店であり、スポーツニュートリション事業「DNS」を展開する(株)ドームとのコラボレーションにより、日本の大学で初めてプロテイン入りのメニュー等を提供する「DNS POWER CAFE」と、近大発食材を使ったメニューを提供する「THE CHARGING PIT & DINER」が2019年9月にオープン。キャッシュレス決済やスマートフォンからのオーダーなど、“次世代型新食堂”として新たに挑戦します。



アカデミックシアター

### 和歌山キャンパス (生物理工学部)

#### 2万8千年前のマンモスの細胞核の動きを確認 遺伝子工学で太古のDNAの生命現象を再現

生物理工学部と近畿大学先端技術総合研究所は、1996年からロシア北東のサハ共和国とマンモスに関する共同研究を開始し、「マンモス復活プロジェクト」として取り組んできました。2019年、共同研究グループは、2万8千年前のシベリア永久凍土中のマンモスの化石「Yuka」の筋肉組織から採取した細胞核の一部が、マウス卵子の中で新たな細胞核を形成しはじめることを世界で初めて確認しました。この研究の論文は国際的なオンライン科学雑誌「Scientific Reports」に掲載され、世界から大きな注目を浴びています。2005年の「愛・地球博」で700万人が熱狂した「ユカギルマンモス」の冷凍標本などを展示した「マンモス展」が2019年6月から東京、11月から福岡にて開催され、計34万人が来場しました。続いて2020年3月から名古屋、7月から大阪で開催予定です。



サハ共和国・ユカギルで発掘されたマンモス「Yuka」

### 奈良キャンパス (農学部)

#### 近畿大学と松井農園が共同開発した 高級メロン「バンビーナ」初入荷!

農学部では、1970年より研究を開始し、2002年に世界初の完全養殖に成功したクロマグロ(近大マグロ)をはじめ、実学教育に基づく様々な農水産品の研究・開発を行っています。2016年には奈良県との包括連携協定締結、翌2017年に農学部と奈良県が「農の入口」モデル事業の覚書を取り交わし、農家の作業負担の軽減と所得の安定化、若者をはじめとした農業初心者や、女性、高齢者、障がい者等の農業参入を容易にする「ユニバーサル農法(ローテック)」と「ICT農法(ハイク)」を組み合わせ「なら近大農法」の確立を目指してきました。また、農学部と株式会社松井農園(奈良県磯城郡)が新種のマスクメロンを共同開発。新品種「バンビーナ」が誕生しました。「バンビーナ」は糖度が16度以上で、他品種よりひと周り大きく、完熟の甘さと芳醇な香りが特徴。2019年7月23日、阪急阪神百貨店阪急うめだ本店「キムラフルーツ」にて試食宣伝販売を開催しました。



### 広島キャンパス (工学部)

#### オリエンタルラジオの中田敦彦氏が 令和元年度入学生入学式で激励スピーチ

「入学式はもっと記憶に残るものであってほしい」そんな教職員の願いから、ゲストスピーカーをお招きし、発信力やプレゼンテーション能力の重要性を学ぶ「初めての講義」を入学式で開講しました。2019年4月5日に近畿大学工学部(広島キャンパス)の入学式に、よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の中田敦彦氏をお招きし、入学生へ激励のスピーチをしていただきました。中田氏は、お笑い芸人としての活躍のみならず、ダンス&ボーカルユニット「RADIO FISH」として音楽活動や、著書『僕たちはどう伝えるか』等の出版など、多方面で才能を発揮。プレゼンテーション能力の高さに定評がある中田氏から、入学生に激励のメッセージを送っていただき、社会で必要となるプレゼンテーション能力、発信力を大学で磨くための第一歩としてほしいという思いからスピーチが実現しました。



### 大阪狭山キャンパス (医学部)

#### 日本初! 手術支援ロボットを導入 最新鋭NAVIO™を用いた人工膝関節手術を実施

当院は、1974年の医学部開設の翌年に開院し、高度医療を提供すると共に、医療者を育成して参りました。2019年4月には「近畿大学病院」へ名称変更し再出発。整形外科では、最新鋭の赤外線誘導式人工膝関節手術支援ロボットNAVIO™(Smith&Nephew社製)を日本で初めて導入し、同機を用いた単顆人工膝手術を行いました。高機能の膝関節の再建と、術後の早期回復・社会復帰には、高精度のインプラント設置と手術の低侵襲化が重要で、ロボット支援手術は両者を実現可能です。手術中に個々の患者に最適な手術計画を立て、誤差1mm・1度以下の高精度で手術を実施。ロボットは骨を掘削するドリルバーを高速で制御するため、手術者はコンソール画面を見ながらバーの先端を掘削部位に接触させるだけで計画通りに骨を切除できます。オーダーメイド手術により、患者健康寿命の延伸の期待と、術後のスポーツ参加も促進されます。



デモンストレーションを行い治療法を説明。

### 福岡キャンパス (産業理工学部)

#### 商店街フィールドワーク調査より 学生が飯塚商店街活性化対策を検討

2006年頃、産業理工学部は、飯塚の商店街と連携はするものの、大きな取り組みは出来ていませんでした。そこで、産業理工学部経営ビジネス学科准教授長谷川直樹と同学科の学生によるグループは、2017年にフィールドワークの授業の一環として飯塚の商店街の調査と活性化の取り組みを本格的に開始。毎年商店街を歩き、商店街の視察や商店主、地域住民への聞き取り調査を行い、地域活性化に向けた調査・研究課題に取り組んでいます。これらの研究成果や解決策を「商店街フィールドワーク最終報告会」として、定期的に商店街や飯塚市役所へフィードバックしています。先日、学生提案をもとに、学生と地域・企業が交流・協同するコミュニティカフェ「つなぐカフェ」をオープン、商店街への愛情を育み、学生目線で商店街を活性化させ、地域創生への貢献を目指しています。

